



川崎市議会議員

# 本間 賢次郎 ケンジロウ

市政レポート No. 43 (令和3年5月号)

未来へ働き続ける、想いを「ツナ」ぐ。  
イメージキャラクター：本マグロ ツナジロウ

事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島 3-14-17

TEL044-742-8072

FAX044-211-1081

## ごあいさつ



先月からワクチンの一般接種（集団接種・個別接種）のご案内や予約受付が始まりました。しかし、コールセンターやウェブサイトにつながりにくい状況や予約受付の見合わせ、接種券の発送時期の変更が生じ、ご不便、ご迷惑をおかけ致しました。

今月中旬から75歳以上の方の予約受付再開、65～74歳の方の接種券を26日より発送と予定を変更しました。

市民の皆様安心して接種して頂ける体制、環境の整備に努め、情報の周知を行って参ります。

## ＜新型コロナワクチン Q&A＞ お問い合わせの多い疑問・不安にお答えします！

機関紙「自由民主」号外（令和3年4月6日発行）より抜粋。一部、編集

### Q. 1 ワクチンの期待される効果は？

新型コロナワクチンには、主に発熱やせきなどの発症や重症化の予防が期待されます。ワクチンが入った注射をしたグループでは、新型コロナウイルス感染症の症状が出た人の数が、ワクチンが入っていない注射をしたグループより95%少なかったとの報告があります（令和3年2月現在）。多くの方が接種すれば、重症者や死亡者を減らし、医療機関の負担を減らすことが期待できます。

### Q. 2 変異株には対応できる？

一般にウイルスは絶えず変異を起こしていくもので、小さな変異でワクチンの効果がなくなるというわけではありません。ファイザー社のワクチンでは、変異株の新型コロナウイルスにも作用する抗体がつくられた、といった実験結果が発表されています。

### Q. 3 安全性は？副反応も気になる

どんなワクチンでも副反応が起こる可能性があります。ワクチン接種では、体内に異物を投与するため、接種した所の腫れ・痛み、発熱、頭痛などが起こることがあります。接種後にワクチン接種と因果関係が不明なものも含めて接種部位の痛み

や頭痛・倦怠感・筋肉痛等の副反応が見られたことが論文等に発表されています。

#### Q. 4 誰でもワクチン接種できる？

一般に以下の方などはワクチンを受けることができません。

##### ・明らかに発熱している方

※明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指します。但し、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません

##### ・重い急性疾患にかかっている方

##### ・ワクチンの成分に対し、アナフィラキシーなど重度の過敏症の既往歴のある方

※アナフィラキシーや全身性の皮膚・粘膜症状、喘息、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状

#### Q. 5 接種で注意すべき点は？

一般に以下の方は注意が必要です。

##### ・過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方

##### ・心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある方

##### ・過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状が出た方

##### ・過去にけいれんを起こしたことがある方

##### ・ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれのある方

また、新型コロナワクチンは筋肉内に注射するため、抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害(血友病等)のある方は接種後の出血に注意が必要とされています。

#### Q. 6 ワクチンの優先接種が受けられる基礎疾患を有するとはどんな場合？

慢性閉塞性肺疾患(COPD)、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患等です。

#### Q. 7 ワクチン接種は必ず受けないといけない？

ワクチン接種は、予防接種法に基づく「努力義務」であり、強制的に接種を行うものではありません。接種の対象となるのは、16歳以上の方です。なお、妊婦の方は、現時点で安全性に関するデータが不足していることから「努力義務」の対象ではありませんが、希望すればワクチン接種を受けることができます。授乳中の方も含め、ワクチン接種を受ける際は、主治医にご相談ください。また、16歳未満の子どもは大人と比べて新型コロナウイルスに感染しにくく、感染したとしても重症化は見られず、国内において亡くなったという報告もありませんので、ワクチン接種の対象になっていません。

#### Q. 8 接種すれば感染症対策は不要？

現在得られている報告によれば、ワクチンはウイルスに感染しても発症したり重症となる可能性が低くなりますが、全く感染しなくなるわけではありません。引き続き、密集・密接・密閉の「3つの密」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや種子消毒用アルコールによる消毒等が必要です。